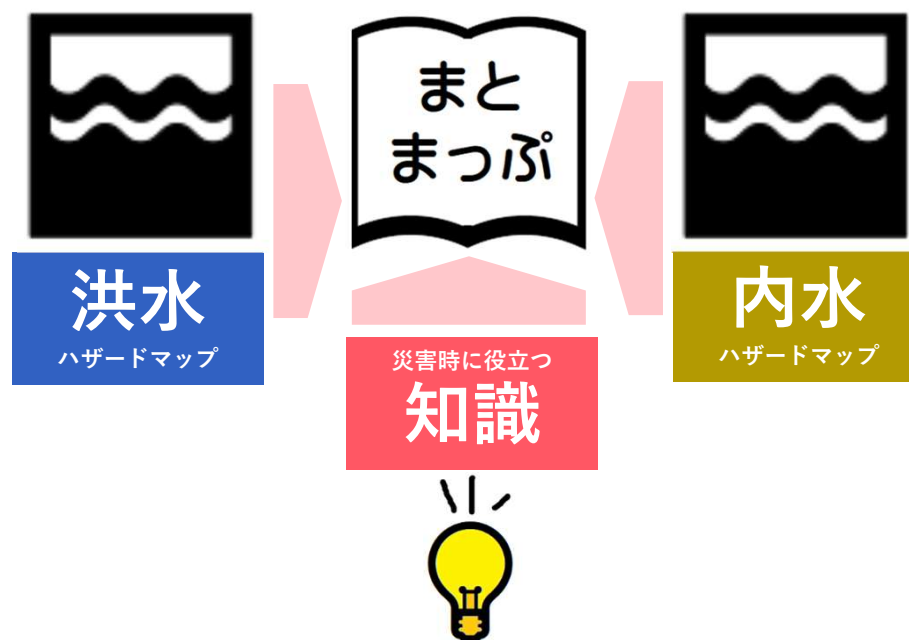


「旭川市防災これ一冊 まとまっぷ」(仮称)の 作成に関するアンケート調査結果報告書



令和7年9月
旭川市防災安全部防災課



目次

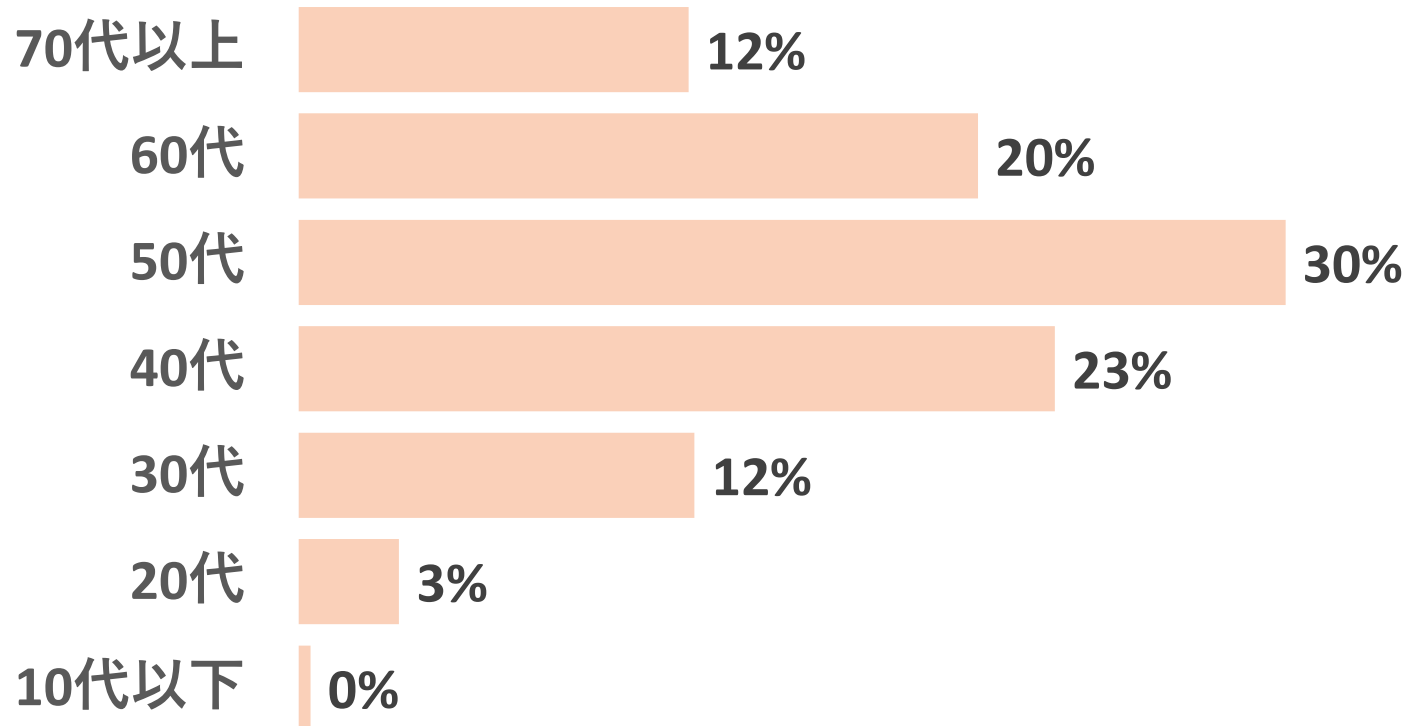
内容		ページ
アンケート調査の概要		1
アンケート 調査結果	Q 1. 年代	2
	Q 2. 色覚で不自由を感じることの有無	3
	Q 3. 現在の洪水ハザードマップの認知度	4
	Q 4. 現在の洪水ハザードマップの認知方法	5
	Q 5. 地図の見やすさ	6
	Q 6. 地図が見つらいと感じた理由	7
	Q 7. 見やすいと感じる配色サンプル（全体で集計）	8
	Q 7. 見やすいと感じる配色サンプル（色覚で不自由を感じることもある方で集計）	9
	Q 8. 新しいハザードマップで特に知りたいと思う情報	10
	Q 9. 新しいハザードマップに対する期待・ご意見等	11
アンケート結果を踏まえた今後の作成方針		12
資料編	アンケート質問項目	14～15
	各質問項目の回答数の詳細	16
	回答一覧表（Q 6. 地図が見つらいと感じた理由）	17～20
	回答一覧表（Q 9. 新しいハザードマップに対する期待・ご意見等）	21～29

アンケート調査の概要

●調査の名称	「旭川市防災これ一冊 まとまっぷ」（仮称）の作成に関するアンケート調査
●目的	本市では新たな洪水ハザードマップと災害時に役立つ情報等をまとめた冊子「旭川市防災これ一冊 まとまっぷ」（仮称）の作成を進めており、配色を含め、見やすい、わかりやすい冊子を作成するため、アンケート調査を実施しました。
●調査対象	市内に住所を有する者、市内に通勤し、又は通学する者及び市内において事業を営み、又は活動を行う個人又は法人その他の団体
●調査期間	令和7年8月1日（金）から8月29日（金）まで
●回答方法	インターネットによる専用フォーム・郵送・FAX等
●回答件数	565件

Q1

あなたの年代を教えてください。



50代が30%と一番多いですが、10代から70代以上まで幅広くご回答いただきました。

※集計に当たり、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります（Q2以降において同じ）。

Q2

あなたは普段、色覚で不自由を感じること
がありますか？



普段、色覚で不自由を感じることある方から
23件（4%）の回答をいただきました。

Q 3

現在の「旭川市洪水ハザードマップ」を
ご覧になったことはありますか？

ある



74%

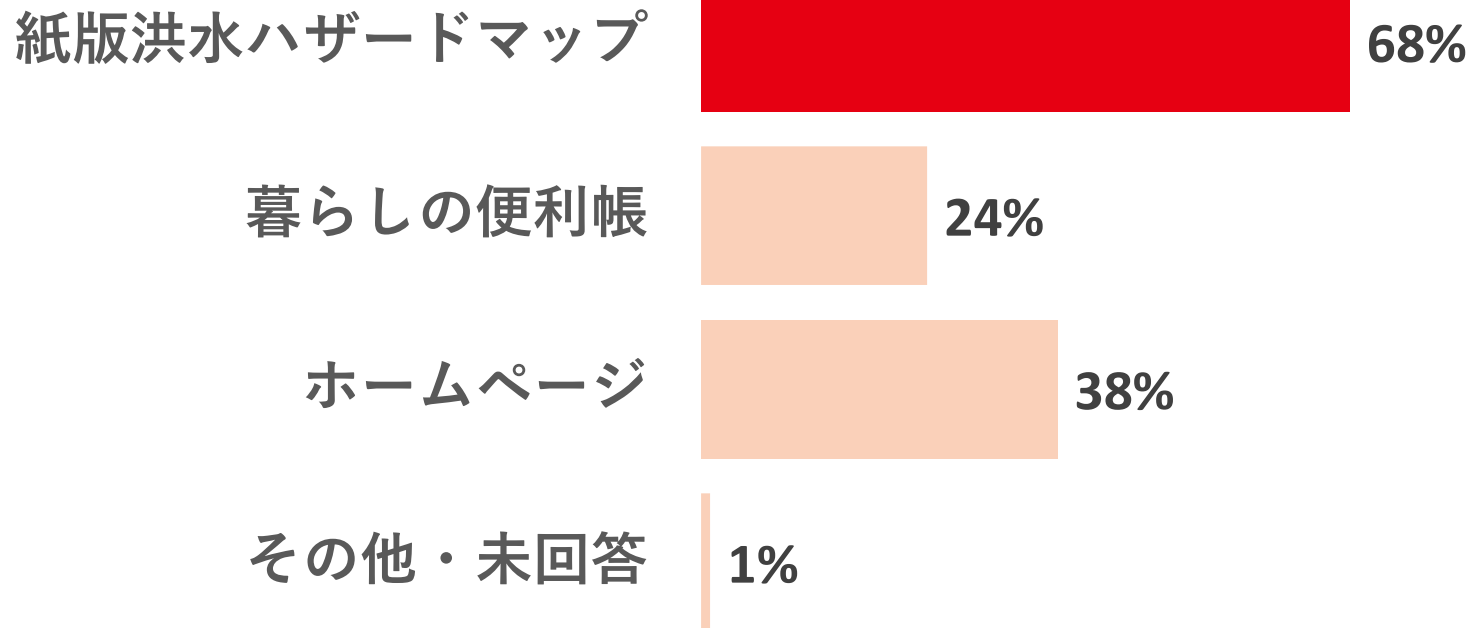
ない

26%

現在の洪水ハザードマップを
全体の74%が、見たことがあると回答しました。

Q 4

※ Q 3 で見たことが「ある」と回答した方のみ
どのような方法で見ましたか？

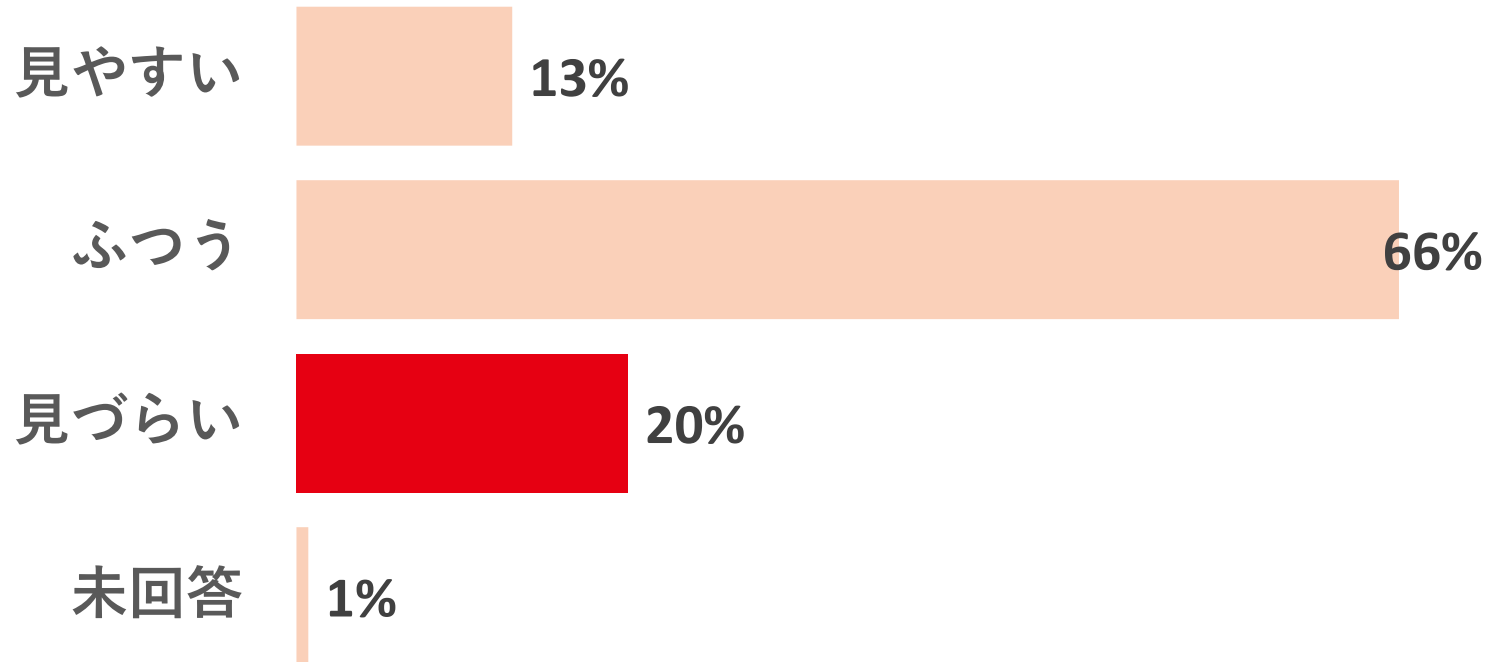


※合計が100%を超えているのは複数回答可としていることによるものです。

洪水ハザードマップを見た方法としては
68%が紙版の洪水ハザードマップと回答しました。

Q 5

※ Q 3 で見たことが「ある」と回答した方のみ
地図の見やすさについてどう思いましたか？



66%が「ふつう」と回答しましたが、「見づらい」との回答が「見やすい」を上回りました。

Q 6

※Q 5で「見づらい」と回答した方のみ
なぜそのように感じましたか？（自由記載）

理由	件数	主な回答
配色に関すること	48	色の違いが分かりづらい。区分の境目が分かりにくい。
縮尺に関すること	11	地図が小さい。細かくて分かりづらい。
場所の特定に関すること	10	目的の場所が探しにくい。 ランドマーク的な建物や公園等を示してほしい。
文字の大きさ	8	字が小さい。
地域分けに関すること	7	自分の見たい地域を探すのに時間がかかる。
ホームページの画質に関すること	4	解像度が荒いし拡大すると見にくい。
情報量に関すること	3	色々な情報がありすぎて分かりづらい。
その他	3	見た時に分かりづらさがあった。

「見づらい」と感じた理由は、
配色に関することが最も多い回答でした。

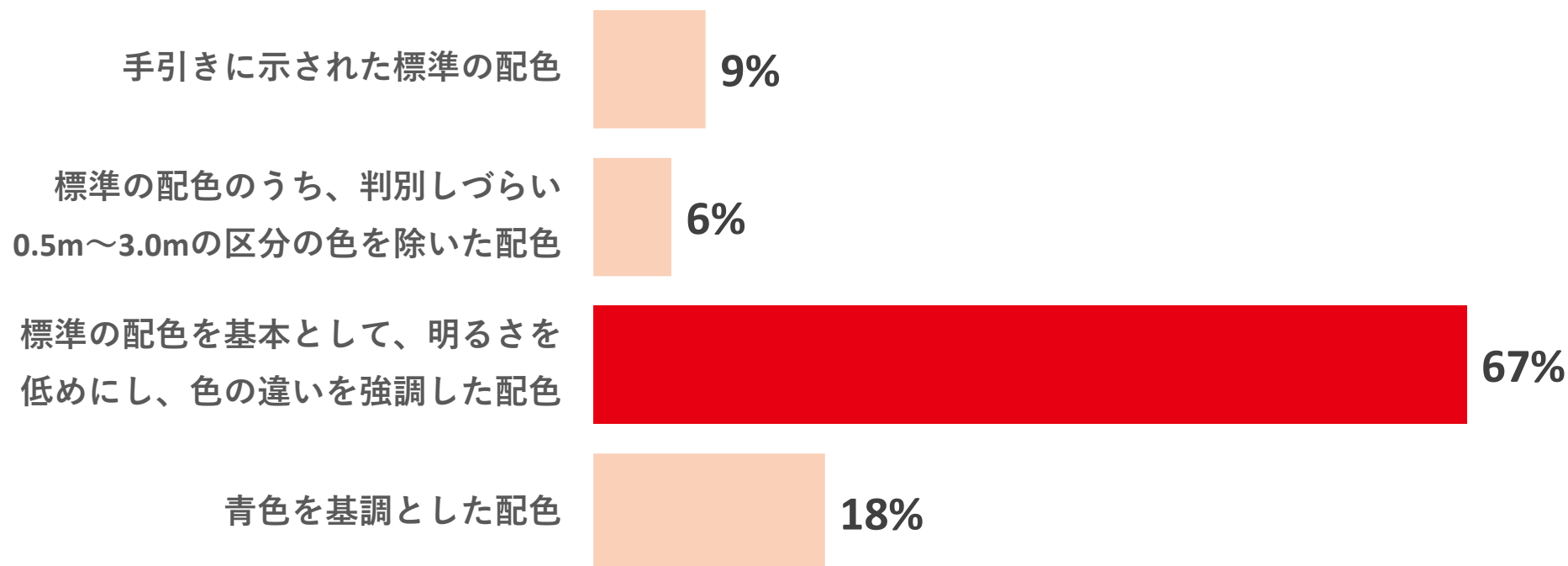
※理由の全件は資料編に記載しています。

Q 7

※全体

※全体で集計

4つの配色のサンプルから一番見やすいと感じるものをお選びください。

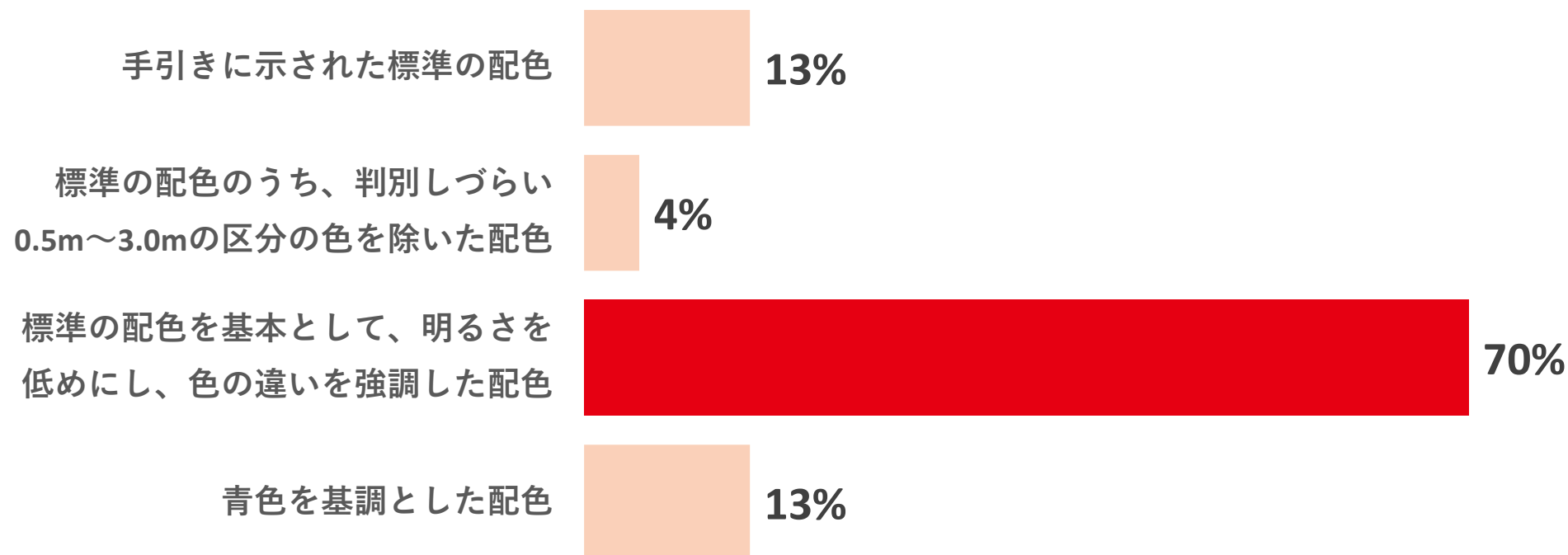


全体の67%が
明るさを低めにし、色の違いを強調した配色と回答
しました。

Q 7

※クロス集計

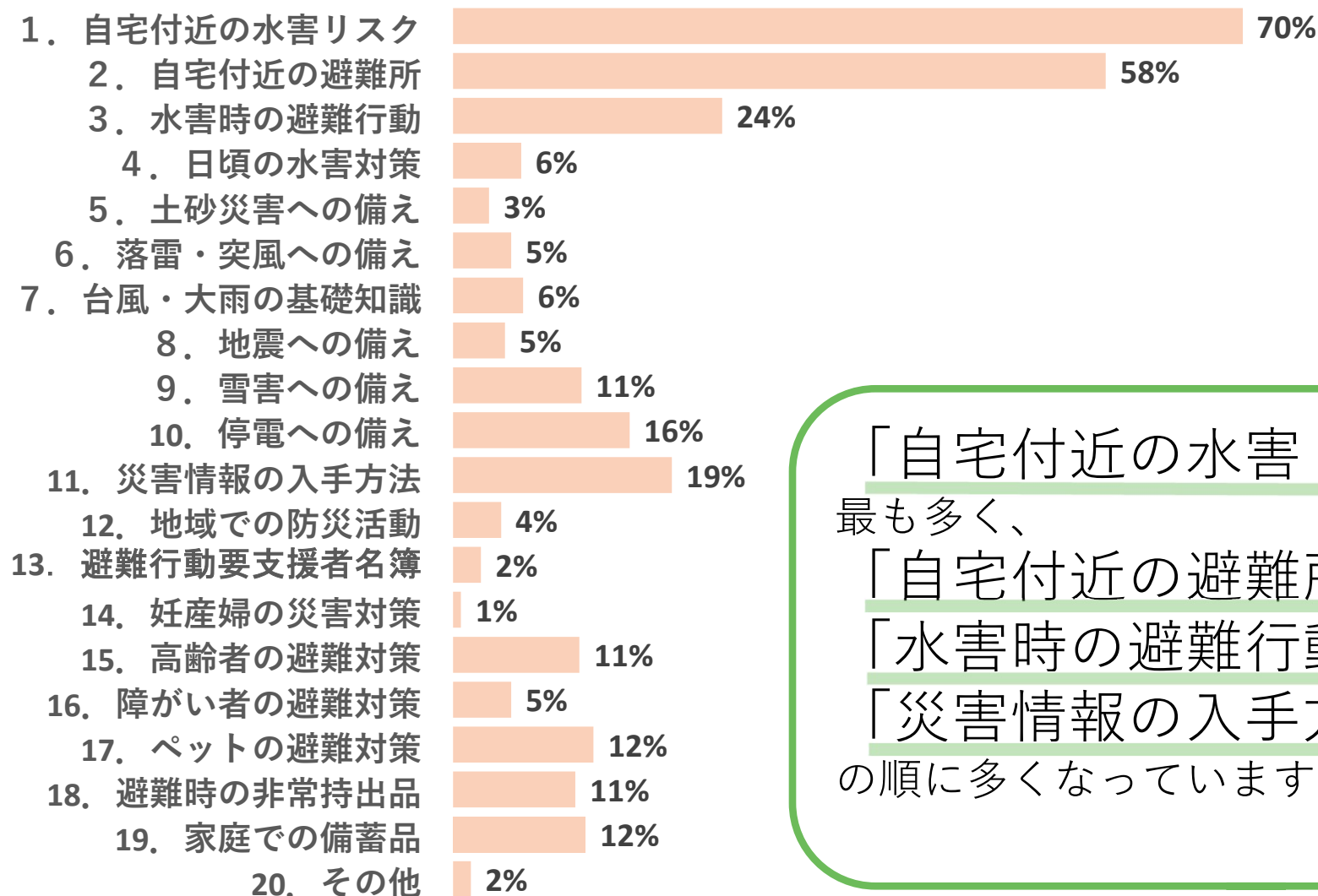
※ Q 2 で色覚で不自由を感じることもあると答えた方のみで集計
4つの配色のサンプルから一番見やすいと感じるものをお選びください。



Q 2 で色覚で不自由を感じることもあると答えた方も
70%が明るさを低めにし、色の違いを強調した配色と回答しました。

Q 8

新しいハザードマップにおいて、特に知りたいと思う情報を教えてください。



「自宅付近の水害リスク」が最も多く、
「自宅付近の避難所」、
「水害時の避難行動」、
「災害情報の入手方法」
の順に多くなっています。

※合計が100%を超えているのは複数回答可としていることによるものです。

Q9

新しいハザードマップに対して期待すること、
ご意見等があれば記載してください。（自由記載）

期待すること・意見等	件数	主な回答（要約）
見やすさ・わかりやすさ	52	・子供から高齢の方まで誰が見ても分かりやすい文字や文章、絵図であれば良いと思います。・大きな文字、見やすい色使いで作って欲しい。
盛り込む内容について	42	・避難を呼び掛ける自治体からの連絡がどのように来るのか、いつ避難すれば良いのかを分かりやすく説明して欲しい。・自宅近くの避難所、高齢者、障害者、ペットの避難対策、避難時の非常持ち出し品のチェックリスト、家庭での備蓄品のチェックリストなどを載せていただけるとありがたい。
周知媒体・周知方法について	30	・災害時はネットなど繋がらない事が予想されるので、サイト以外にもやはり紙媒体で配布して欲しい。・インターネット上で見れるGISマップがあれば便利。・紙でもデータでも見られるようにしてほしい。
作成後の効果・活用について	11	・新しいハザードマップを作成するのは良いことだと思いますが、それを確実に周知するとともに、避難訓練を実施しなければなりません。・市民が防災をジブンゴトにできるような冊子を期待しています。
ハザードマップ以外の災害対策	11	・浸水する場所に避難所を設定しないでほしい。・ペットとの同行避難所で、屋内でも一緒に避難出来る場所を作って欲しい。・水害に限らず避難時の移動手段がなく、公共交通も頼れない状況だと避難が難しい。
冊子の構成について	3	・「防災ガイド」と「ハザードマップ（地図）」を別々に作成してはどうか。
作成時期について	3	・早めに紙で発行配布、早めに出来ないなら電子情報でお願いします。
その他	5	・情報に誤りが無いように製作して下さい。

「見やすさ」「わかりやすさ」についての意見等が最も多くなりました。

アンケート結果を踏まえた今後の作成方針



今後の作成方針	アンケートを踏まえた考え方
●地図面のページ数の確保	当初予算策定時においては40ページ程度の冊子としていましたが、現在48ページに拡張する予定で作成を進めており、地図面をより多く確保し、見やすく、わかりやすいものとなるよう配慮してまいります。
●配色の変更	現在の配色は「見づらい」という意見が多かったことから、Q7の配色サンプルのうち、全体、色覚で不自由を感じる方ともに、一番見やすいと回答のあった「明るさを低めにし、色の違いを強調した配色」を基本に作成を進めてまいります。 ※水害ハザードマップ作成の手引き（国土交通省）において、住民意見を反映した上で標準の配色に類する配色等を用いることを妨げないものとされております。
●様々な媒体での周知	冊子での全戸配付に加えて、ホームページでPDF版を公開するほか、新しく導入予定の公開型GIS（位置情報をもつ行政情報や地図データを公開するシステム）により調べたい場所を自由に検索したり拡大・縮小して確認できるようにしてまいります。
●盛り込む内容の調整	Q8の「特に知りたいと思う情報」の回答割合やQ9の期待すること、ご意見等の内容を踏まえて、盛り込む情報の内容やページ配分を調整してまいります。 また、公開型GISの活用や旭川市避難マニュアル（市民用）（本市の災害リスクと避難に関する予備知識、災害への備えを詳細にまとめたもの）等を活用して様々な災害対策に係る情報を提供してまいりたいと考えております。
●作成時期	令和8年3月に全戸配付を予定しておりますが、中小河川による水害リスクをできるだけ早く周知する観点から、令和7年10月発行予定の「旭川市くらしの便利帳2025年版」においても、一部の区域の新しい洪水ハザードマップを掲載する予定です。
●正式名称の決定	冊子の名称は、アンケートにおいて特段の意見がなかったことから、（仮称）をとり、「旭川市防災これ一冊 まとまっぷ」を正式名称とすることにします。
●その他	冊子の作成以外の災害対策に係るご意見は今後の業務の参考とさせていただきます。